

**主題：**

**主の回復の目標——一人の新しい人を生み出す**

メッセージ 3

**一人の新しい人の団体の生活のために、  
すべての事でキリストの中へと成長し込み、  
イエスにあるあの実際にしたがってキリストを学ぶ**

聖書：エペソ 4:13-16, 20-21, 24

エペソ 4:13-16——ついにわたしたちすべては、その信仰の一に、また神の御子を知る全き知識の一に到達し、一人の完全に成長した人に到達し、キリストの豊満の身の丈の度量にまで到達するのです。それは、わたしたちがもはや幼子ではなく、波にもてあそばれたり、教えのあらゆる風によって吹き回されたりすることがないためです。この教えは、誤りの体系をもくろむこうかつな人の悪巧みです。むしろ、愛の中で真実を固く保って、わたしたちはすべての事で、彼すなわちかしらであるキリストの中へと成長し込むのです。この方から、からだ全体は、その豊富な供給のあらゆる節々を通して、またそれぞれの部分の度量に応じた活動を通して、結合され組み合わせられ、からだを成長させ、愛の中でそれ自身を建て上げるに至るのです。

エペソ 4:20-21——しかしあなたがたは、そのようにキリストを学んだのではありません。もしあなたがたが真に彼に聞き、そして彼の中で、イエスにあるあの実際にしたがって教えられているのであれば、

エペソ 4:24——また、あの実際の義と聖の中で、神にしたがって創造された、新しい人を着たのです。

**I. 一人の新しい人の団体の生活のために、わたしたちはすべての事でキリストの中へと成長し込む必要があります——エペソ 4:14-16, 24：**

- A. キリストの中へと成長し込むことは、すべての事でキリストがわたしたちの中で増し加わって、ついにはわたしたちが一人の完全に成長した人に到達することです——13-15 節。
- B. わたしたちはみなすべての事で、すなわち、大きい事でも小さい事でも、一つ一つの事でキリストの中へと成長し込む必要があります——15 節：
  - 1. わたしたちはまだ多くの事で、キリストの中へと成長し込んでいません。これらの事では、わたしたちはキリストの中にいるのではなく、キリストの外にいます。
  - 2. わたしたちはみなすべての事でキリストの中へと成長し込むとき、キリストの中で一となります。これが宇宙的な一人の新しい人です——24 節。
  - 3. すべての事でキリストの中へと成長し込むことは、宇宙的な一人の新しい人の

実際的な出現のためです——24 節。

4. 15 節のキリストの中へと成長し込むことは、24 節の新しい人を着ることと等しいです。
  5. 13 節の完全に成長した人は、24 節のすでに完全に成長した一人の新しい人を指しています。
- C. エペソ第 4 章は、命の成長を通して新しい人を成就することについて語っています。キリストが創造した一人の新しい人は、機能するために成就されなければなりません：
1. エペソ第 2 章 15 節において、わたしたちは新しい人が有機的に創造されていることを見ます。第 4 章 13 節から 16 節において、わたしたちは新しい人の機能の成就を見ます。
  2. 有機的に完全な一人の新しい人は、正しく機能するために、命の成長を通して成就される必要があります——エペソ 4:12-15：
    - a. 一人の新しい人は、正しい養いを受けることを通してのみ、機能において完全になることができます。これは、エペソ人への手紙における最も深い概念の一つです。
    - b. わたしたちは、養いとはぐくみを通して一人の新しい人を成就する責任を果たす必要があります——5:29。
    - c. 一人の新しい人は正しい養いを受けることを通して成長すればするほど、ますます正常に機能します。
  3. わたしたちは団体の新しい人の成長のために、十字架につけられ、復活し、昇天し、下ってくるキリストを経験する必要があります。それによってすべてを含むキリストはわたしたちの中へと造り込まれて、わたしたちのすべてとなります。そうすれば、有機的に完全な新しい人は、機能においても完全になります——3:16-17 前半, 4:13, 24。

## II. 一人の新しい人の団体の生活のために、わたしたちはイエスにあるあの実際にしたがってキリストを学ぶ必要があります——エペソ 4:20-21：

- A. 20 節で、パウロはキリストを学ぶことについて語っています：
1. キリストはわたしたちにとって命であるだけでなく、模範でもあります。主イエスは地上の生活の中で、型、鋳型を設立しました——ヨハネ 13:15. I ペテロ 2:21。
  2. 救われることは、神によってキリストの中へと入れられることです——I コリント 1:30。
  3. バプテスマによって、神はわたしたちを型であるキリストの中へと入れました。バプテスマされることは、鋳型としてのキリストの中へと入れられることです——ローマ 6:3. ガラテヤ 3:27。
  4. 鋳型の中へと入れられることによって、わたしたちは古い人を脱ぎ捨て、新しい人を着ました——エペソ 4:22, 24。
  5. わたしたちは、実際であるイエスの生活の鋳型にしたがってキリストを学びま

す——20-21 節。

6. キリストを学ぶことは、鑄型としてのキリストの中へと入れられることです。これは、彼が地上にいた年月に設立した型の中へと鑄込まれることです——20 節。

B. 「イエスにあるあの実際」という表現は、四福音書に記録されているような、イエスの生活の実際の状態を指しています。イエスの生活は実際の生活でした——21 節：

1. 17 節と 21 節において、わたしたちは思いのむなしさとイエスにあるあの実際の対比を見ます。
2. 実際とは光の輝きです。光は源であり、実際は表現です——ヨハネ 8:12：
  - a. 主イエスは、光である神の輝きです——ヘブル 1:3. I ヨハネ 1:5.
  - b. 主の地上の生活のあらゆる面には光の輝きがあったので、彼の生活は実際の生活、すなわち輝く神ご自身の生活でした。その実際の生活は神の表現でした——ヨハネ 8:12. 14:6.

C. 一人の新しい人の生活は、イエスの生活と全く同じであるべきです——エペソ 4:20：

1. 主イエスが地上で生活した方法は、今日新しい人が生活すべき方法です——マタイ 11:28-30. ヨハネ 6:57. 4:34. 5:17, 19, 30. 6:38. 17:4.
2. わたしたちの生活の標準は、イエスにあるあの実際にしたがっていなければなりません——エペソ 4:20：
  - a. 彼は神と一でした。彼は神の中で、神と共に、神のために、すべての事を行なう生活をしました。
  - b. イエスの人の生活は、あの実際、すなわち神ご自身にしたがっており、義と聖に満ちていました——24 節。
3. わたしたちはキリストを学び、彼の中で教えられて、実際の生活をする必要があります——20-21 節. II ヨハネ 1 節. ヨハネ 4:23-24.
4. 一人の新しい人は団体の人として、イエスにあるあの実際にしたがって、実際の生活をすべきです。それは神を表現する生活でもあります——エペソ 4:21.
5. わたしたちは思いの霊にしたがって生きるなら、団体の新しい人の生活を持ちます。それはイエスにあるあの実際に符合する生活です——23 節。

D. 召会生活は一人の団体の新しい人の日ごとの歩みです。それはまた、性質と様式において絶対に新しい歩みです。一人の新しい人に関するものはすべて新しいです——17-32 節。

E. 一人の新しい人は神ご自身にしたがっており、神の命と性質を持っているので、神聖である命を持っているに違いありません。そのような命は団体的なものであって、単独のものではありません——24 節。